

選定テーマ: 「業務改革」

A-3^{1/2}

- ① 働き方改革 (・定時で帰る → 新規業務への
・ワークライフバランス 取り組み強化)
ペーパーレス化 (・紙の価格上昇
・印刷作業・修正 → 業務効率の向上)
教育の質向上 (少子化、国際化、AI教育、仕事の変化、人材育成)

② 電子決裁化 事務システム	③ 完全ペーパーレス化 ×	④ 外部業者が求めている 強制力が薄い、PCスキル不足
フリーアドレス導入 iPad, LINE works	紙媒体じゃないと見られない コストに見合わない 運用が十分にできていない	コスト (PHS, 連絡ツール)
窓口時間縮小	固定電話がない 席が分からなくなる	絶対数が少ない (生涯学習への関心)
(検討中) 給与明細のペーパーレス化 オリエンテーション Web 映像化	正課生以外の満足 実施できていない	環境・人材・コスト・業者の選定

個々に机を持たないオフィススタイル

フリーアドレスによる業務改革 ~ 教職協働力 ~

A-3^{1/2}

① 時代・社会の要請

- ★ 社会の構造的変化 (少子化・国際化・Society 5.0) により教育の質的転換が求められている
- ★ 社会のニーズにあった教育を行うために全学的な意思統一が必要 → 教職協働力

② 対応状況における問題点

- × 意思統一の機会が日常的ではない
- × ステークホルダーの意見を全学で共有できていない
- × 自由な発想が起りにくい
- × 教員同士・教職員同士でもコミュニケーション不足

③ 大学における対応状況

- ・ SD・FD を同時に進行
- ・ OC を全学的に行う
- ・ 教(職) でのプロジェクト (プランが長期計画)
- ・ 「教育開発センター」: 教育方針の実行 (教職)
- ・ 教(職) で行う高校訪問

④ 解決のために大学が取り組むべき方向性・目的

- 方向性: 日常的な教職協働
- 目的: 新しい教育の質的転換に関するプラットフォーム
情報の共有による議論の活性化

⑤ 具体的な事業や方策

1. フリーアドレス “隣に先生がいながら働く”
(教職) が同じ空間に
2. ICT によるコミュニケーションの活性化
(iPad, 電子黒板, ビジネスチャット)
3. 意見の集約機関の設置
4. 書類データの共有 (ペーパーレス化)
5. 窓口の一次対応 … チャットボット, 派遣職員
ワンストップサービス
6. オープンな会議室, ランチスペース